

分散名人

追加型投信/内外/資産複合

交付運用報告書

第7期(決算日2025年3月21日)

作成対象期間(2024年3月22日~2025年3月21日)

第7期末(2025年3月21日)	
基準価額	14,836円
純資産総額	13,076百万円
第7期	
騰落率	5.4%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」から該当ファンドの「運用報告書(全体版)」を選択

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「分散名人」は2025年3月21日に第7期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドは、主として、投資対象ファンドへの投資を通じて、国内外の7つの資産(国内債券、海外債券、国内株式、グローバル株式、国内リート、グローバルリート、金)に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



ちばぎんアセットマネジメント

東京都墨田区江東橋2丁目13番7号

<照会先>

電話番号：03-5638-1451

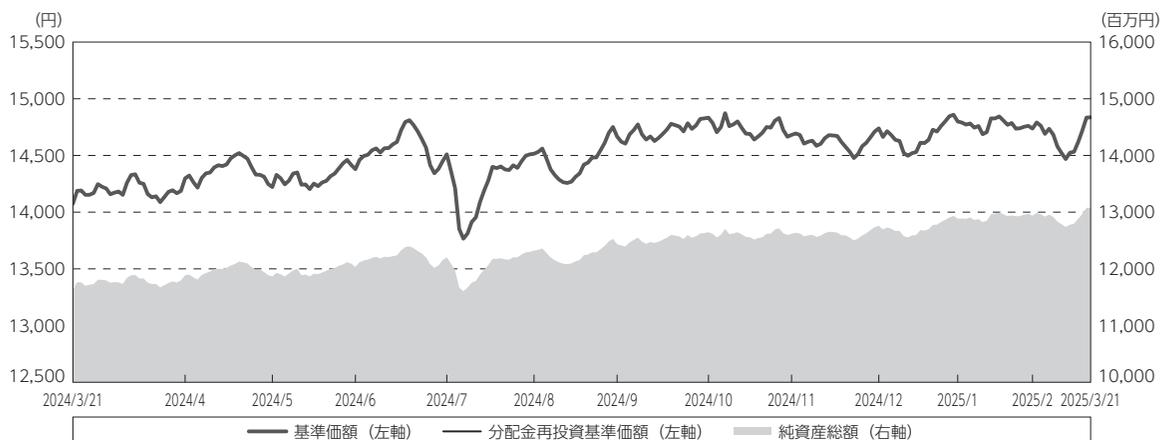
(受付時間は営業日の午前9時~午後5時です。)

ホームページ：http://www.chibagin-am.co.jp/

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年3月22日～2025年3月21日)



期 首：14,075円

期 末：14,836円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 5.4% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首(2024年3月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの投資対象ファンドの騰落率は以下の通りです。

組入ファンド	投資資産	当期末 組入比率	騰落率
日本超長期国債ファンド（適格機関投資家向け）	国内債券	13.8%	-11.3%
高利回りソブリン債券インデックスファンド	海外債券	14.1%	1.6%
日本株好配当マザーファンド	国内株式	14.6%	5.6%
グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス	グローバル株式	14.1%	8.1%
Jリート・アクティブ・ファンド（適格機関投資家向け）	国内リート	14.3%	-0.5%
グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）	グローバルリート	14.0%	11.0%
FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり（適格機関投資家専用）	金	14.6%	32.6%

(注1) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 騰落率は分配金再投資ベースです。

当ファンドの基準価額は、当期末において14,836円となり、期首比5.4%（信託報酬控除後、分配金再投資ベース）の上昇となりました。なお、当期の分配は見送りました。

金やグローバルリートなどがプラスに寄与しました。

1万口当たりの費用明細

(2024年3月22日～2025年3月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	134	0.924	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(56)	(0.385)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(72)	(0.495)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.032	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(5)	(0.032)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	1	0.005	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	140	0.961	
期中の平均基準価額は、14,552円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

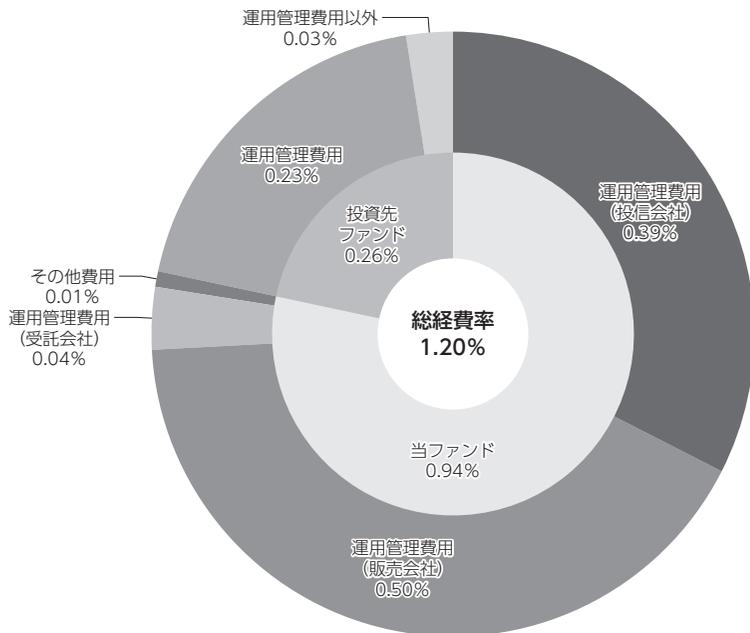
(注5) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注6) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.20%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.20
①当ファンドの費用の比率	0.94
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03

(注1) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注5) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドの費用は、投資先運用会社等から提供された入手可能なデータや情報を基にちばぎんアセットマネジメントが作成しています。

(注8) 投資先ファンドのうち、「運用管理費用以外」には、外国籍ファンドの費用の一部が含まれていない場合があります。

(注9) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年3月23日～2025年3月21日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2020年3月23日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年3月23日 決算日	2021年3月22日 決算日	2022年3月22日 決算日	2023年3月20日 決算日	2024年3月21日 決算日	2025年3月21日 決算日
基準価額 (円)	8,766	11,583	12,193	11,920	14,075	14,836
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	20	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	32.1	5.3	△ 2.2	18.2	5.4
純資産総額 (百万円)	4,493	4,772	5,367	10,070	11,627	13,076

- (注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注4) 当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を特定していません。

投資環境

(2024年3月22日～2025年3月21日)

国内債券市場

国内債券市場は、債券価格が下落（金利は上昇）しました。期初から2024年5月下旬にかけては、日銀の国債買い入れ減額や追加利上げ観測の高まり、米国の金利上昇などから債券価格は下落しました。6月中旬にかけては、日銀が引き締めに慎重との見方が強まり債券価格は上昇しましたが、7月上旬にかけては円安米ドル高進行による日銀の早期利上げ観測の高まりなどから下落しました。8月上旬にかけては、世界的な株安や米国の大幅な利下げ観測を受けて債券価格は急騰しましたが、9月上旬にかけては株式市場の反転や日銀の追加利上げが意識され、下落しました。9月下旬にかけては、米国の利下げ観測の高まりや日銀の早期利上げ観測が後退し、債券価格は上昇しました。2025年1月中旬にかけては、米国大統領選挙でのトランプ氏勝利による米国の金利上昇や石破新政権の経済政策に伴う国債増発への警戒感、日銀の利上げ観測の高まりなどを受けて下落しました。1月下旬にかけては米国のインフレ鈍化を受けて上昇したものの、期末にかけては日銀のタカ派的な姿勢や、春闘における労働組合の賃上げ要求が高水準となったことなどを背景に、債券価格は下落しました。

海外債券市場

高金利海外債券市場は、債券価格は小幅に上昇（金利は低下）しました。期初から2024年4月下旬にかけては米国の堅調な経済指標やインフレ指標を背景にFRB（米連邦準備制度理事会）の高金利政策の長期化観測が高まり、債券価格は下落しました。5月中旬にかけては、米国のインフレ指標の上昇一服やFRBによる利下げ観測の高まりから上昇しましたが、6月中旬にかけてはFRB高官の利下げに対する慎重な発言や米国の堅調な経済指標を受けて、債券価格は下落しました。9月下旬にかけては、米国の景気減速への懸念やインフレ鈍化、パウエルFRB議長のジャクソンホール会議における利下げ示唆などを受けて債券価格は上昇しました。11月中旬にかけては、FRBのハト派姿勢の後退観測や次期トランプ政権の政策によるインフレ懸念から、債券価格は下落しました。12月中旬にかけては米国の財政懸念の和らぎなどから債券価格は上昇に転じましたが、2025年1月中旬にかけては、トランプ新政権の政策への警戒感や米国のインフレ率の高止まりから、債券価格は下落しました。期末にかけては、米国ハイテク株の急落や中国経済の低迷に対する懸念、米国経済指標の悪化などを受けて、債券価格は上昇しました。なお、外国為替市場では日米金利差の縮小などから、円高米ドル安が進行しました。

国内株式市場

国内株式市場は上昇しました。期初から2024年4月中旬にかけては、米国の利下げ期待の後退や中東情勢の緊迫化などを受けて下落しました。7月中旬にかけては、米国の利下げ期待の高まりや、円安米ドル高進行を好感した輸出関連株の上昇、米国のハイテク株の上昇などを背景に日経平均株価と東証株価指数が史上最高値を更新するなど、大幅に上昇しました。8月初旬にかけては、米国の景気減速懸念の高まりや日銀の追加利上げ観測の高まりによる急速な円高米ドル安進行などを背景に急落しましたが、9月上旬にかけては、日銀の内田副総裁が金融引き締めを慎重な姿勢をみせたことや、米国の景気への過度な警戒感が後退したことから、値を戻しました。9月中旬にかけては、米国の景気減速懸念の再燃や円高米ドル安進行から下落しましたが、12月下旬にかけてはFRBによる利下げ実施や追加利下げ観測の高まり、米国での次期トランプ政権による減税や規制緩和などの政策期待の高まりなどを背景に上昇

しました。2025年1月中旬にかけては、米国の対半導体規制強化や日銀の利上げ観測の高まりから下落しましたが、期末にかけては、米国の著名投資家による国内大手商社株の買い増し報道や円高米ドル安基調の一服などを受けて投資家心理が改善し、上昇しました。

グローバル株式市場

グローバル株式市場は上昇しました。期初から2024年4月中旬にかけては、米国の強い経済指標や米国の金融当局者のタカ派的発言、中東情勢の緊迫化を受けて下落しましたが、5月中旬にかけては、中東情勢の警戒感が和らいだことや、米国でのインフレ鈍化期待から上昇しました。6月中旬にかけては、欧米金融当局の利下げ観測の後退などから下落しましたが、7月下旬にかけては米国の利下げ期待や、欧州での政局不安の緩和が支援材料となり上昇しました。8月上旬には、日銀の追加利上げ観測の高まりによる日本株の急落や米国の景気後退懸念を受けて下落しましたが、9月下旬にかけては過度な米国の景気減速懸念の後退や、米国の利下げ期待の高まり、半導体企業の業績期待、中国の景気刺激策期待を受けた欧州株式市場の上昇などを背景に、上昇しました。2025年1月上旬にかけては、欧州での企業業績の悪化やFRBの追加利下げ観測の後退などを背景に下落しました。期末にかけては、米国での関税政策による不透明感の高まりが重しとなったものの、主要企業の好決算や欧州での追加利下げ期待の高まり、ロシアとウクライナの停戦交渉への期待などを背景に上昇しました。

なお、外国為替市場では日米金利差の縮小などから、円高米ドル安が進行しました。

国内リート市場

国内リート市場は下落しました。期初から2024年5月上旬にかけては、都心部オフィスの空室率低下や賃料上昇などを受けたオフィス市況の回復期待を背景に、上昇しました。6月中旬にかけては、日銀による利上げや国債買入れの減額など金融政策正常化への思惑が強まったことから下落しましたが、7月中旬にかけては、米国の利下げ期待の高まりを背景とした米国の金利の低下などが支援材料となり、上昇しました。8月上旬には、日銀のタカ派的な姿勢や米国の景気後退懸念が強まる中で世界的に株式市場が急落したことを受けてリート市場も大幅に下落しましたが、8月下旬にかけては、パウエルFRB議長の講演を受けた米国の早期利下げ期待の高まりや、日銀のハト派的姿勢による国内金利の低下が支援材料となり上昇しました。12月中旬にかけては、FRBによる利下げ観測の後退や日銀の追加利上げ観測の高まりを受けて下落しましたが、期末にかけては、オフィス市況の改善や米国金利の低下、株式市場の底堅さなどが支援材料となり、上昇しました。

グローバルリート市場

グローバルリート市場は上昇しました。期初から2024年4月中旬にかけては、米国の景気の強さを示す経済指標を受け欧米の長期金利が上昇したことが重荷となり、下落しました。7月中旬にかけては、米国での経済指標の鈍化を背景とした利下げ観測の高まりや欧州における好調な企業業績、米国の長期金利の低下を受けた欧州の長期金利の低下などを受けて、上昇しました。8月上旬には、米国の景気後退懸念の高まりによる世界的な株価急落を受けて下落しましたが、9月中旬にかけては過度な米国の景気減速懸念の後退や、リート各社の堅調な決算内容、米国金利の低下などを背景に、上昇しました。2025年1月中旬にかけては、FRBが2025年の利下げペースを減速させる見通しを示したことやECB（欧州中央銀行）総裁のインフレ懸念の発言を受けた欧州金利の上昇などを背景に下落しましたが、3月上

旬にかけては米国の長期金利の低下やロシアとウクライナの停戦交渉への期待などを背景に上昇しました。期末にかけては、米国の関税政策による経済の先行き不透明感やインフレ再燃に対する懸念などを背景に下落しました。

なお、外国為替市場では日米金利差の縮小などから、円高米ドル安が進行しました。

金市場

金価格は上昇しました。期初から2024年10月下旬にかけては、中東の地政学リスクの高まりや米国経済指標の悪化、米国の利下げ観測の高まりなどを背景に、安全資産としての需要や金利のつかない金の投資妙味が強まり、力強く上昇しました。11月中旬にかけては、トランプ氏の米国大統領選挙勝利による米国長期金利の上昇を受けて下落しましたが、2025年2月下旬にかけてはロシア・ウクライナ戦争の激化や中東の地政学リスク、トランプ新政権の政策による不確実性などから上昇しました。期末にかけては、米国の関税政策による世界的な貿易戦争に対する懸念の高まりや、経済の先行き不透明感の強まりなどを受けて安全資産としての需要が強まったことから、過去最高値を付けるなど上昇基調となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年3月22日～2025年3月21日)

○当ファンド

当期末における各投資対象ファンドの組入れ比率は以下の通りです。なお、各投資対象ファンドへの投資割合は、7分の1ずつの均等配分を基本とします。

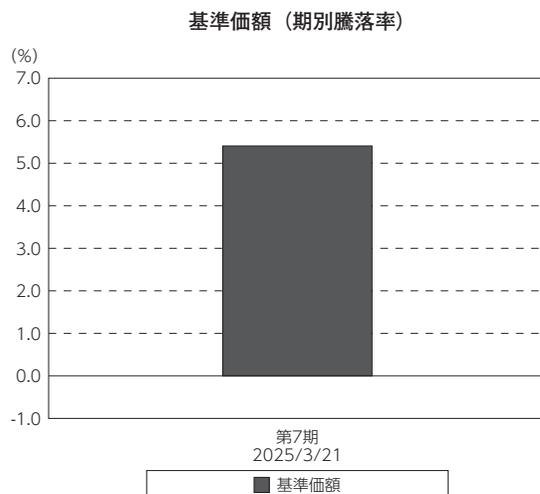
組入ファンド	投資資産	当期末 組入比率
日本超長期国債ファンド（適格機関投資家向け）	国内債券	13.8%
高利回りソブリン債券インデックスファンド	海外債券	14.1%
日本株好配当マザーファンド	国内株式	14.6%
グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス	グローバル株式	14.1%
Jリート・アクティブ・ファンド（適格機関投資家向け）	国内リート	14.3%
グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）	グローバルリート	14.0%
FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり（適格機関投資家専用）	金	14.6%

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年3月22日～2025年3月21日)

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を特定しておりません。

右記グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

(2024年3月22日～2025年3月21日)

基準価額水準、市況動向などを考慮して、収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した収益については、当ファンドの運用方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第7期
	2024年3月22日～ 2025年3月21日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,725

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後も日本を含む世界の債券、株式、不動産投信、金地金価格への連動をめざす上場投資信託証券(ETF)等を実質的な投資対象とする各主要投資対象ファンドを通じて、中長期的に収益が期待できる7つの資産に均等に投資を行ってまいります。

引き続き、値動きが異なる傾向にある7つの資産を組み合わせることにより、基準価額の変動を抑えながら、収益の獲得を目指してまいります。

お知らせ

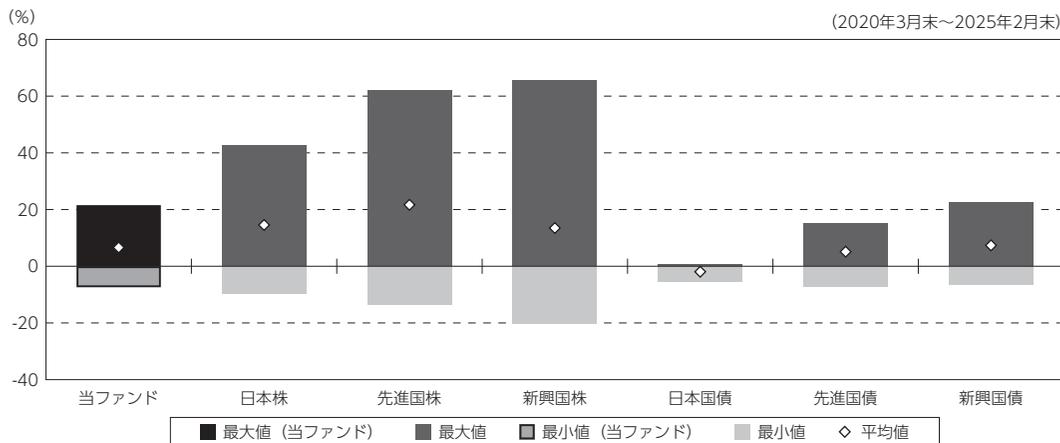
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2018年5月16日から無期限です。
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	国内外の7つの資産（国内債券、海外債券、国内株式、グローバル株式、国内リート、グローバルリート、金）それぞれに投資をする各投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、投資信託証券を通じて、国内外の7つの資産（国内債券、海外債券、国内株式、グローバル株式、国内リート、グローバルリート、金）へ均等に分散投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等のうちから、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配を行う方針です。ただし、分配対象金額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 収益分配に充てなかった留保益については、元本部分と同一の運用を行います。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	21.6	42.8	62.2	65.6	0.6	15.3	22.7
最小値	△ 7.4	△ 9.8	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	6.6	14.6	21.7	13.5	△ 1.9	5.1	7.4

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2020年3月から2025年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：Morningstar 日本株式指数

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株：Morningstar 新興国株式指数

日本国債：Morningstar 日本国債指数

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、すべて利子・配当込みのグロス・リターン指数です。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年3月21日現在)

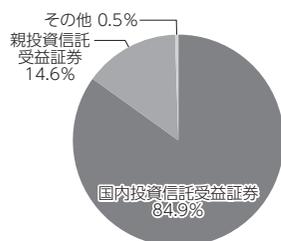
○組入上位ファンド

銘柄名	第7期末
	%
日本株好配当マザーファンド	14.6
FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり(適格機関投資家専用)	14.6
Jリート・アクティブ・ファンド(適格機関投資家向け)	14.3
その他	56.0
組入銘柄数	7銘柄

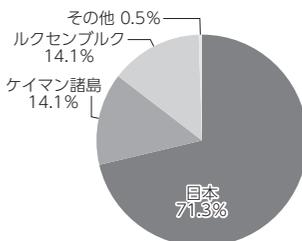
(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

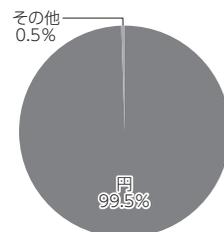
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注3) 国内投資信託受益証券には外国籍(邦貨建)の受益証券を含めております。

(注4) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第7期末
	2025年3月21日
純資産総額	13,076,055,676円
受益権総口数	8,813,795,418口
1万円当たり基準価額	14,836円

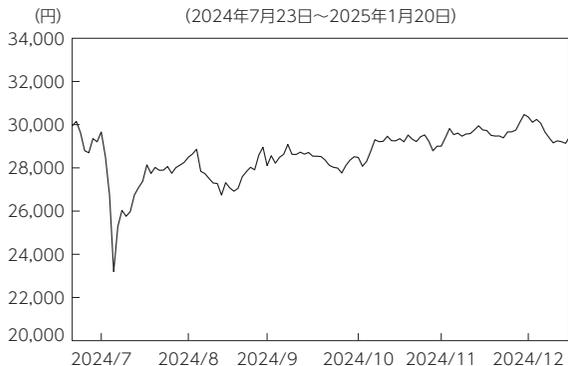
(注) 期中における追加設定元本額は1,538,163,206円、同解約元本額は985,502,570円です。

組入上位ファンドの概要

日本株好配当マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年7月23日～2025年1月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年7月23日～2025年1月20日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	28 (28)	0.098 (0.098)
合 計	28	0.098

期中の平均基準価額は、29,015円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

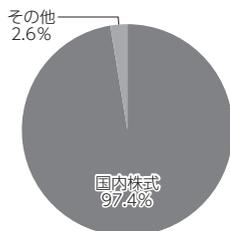
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	円	日本	4.2%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	円	日本	4.0%
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	円	日本	3.2%
4	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	円	日本	2.6%
5	ソフトバンク	情報・通信業	円	日本	2.0%
6	日本電信電話	情報・通信業	円	日本	1.9%
7	SOMPOホールディングス	保険業	円	日本	1.8%
8	KDDI	情報・通信業	円	日本	1.6%
9	東京海上ホールディングス	保険業	円	日本	1.6%
10	三井住友トラストグループ	銀行業	円	日本	1.5%
組入銘柄数			129銘柄		

(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

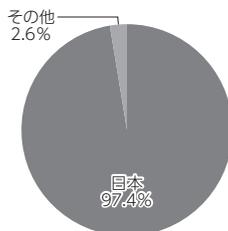
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

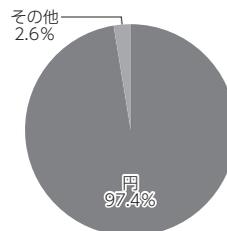
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注3) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注4) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2025年1月20日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2023年7月11日～2024年7月8日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	19 (13) (1) (4)	0.142 (0.098) (0.011) (0.033)
(b) 売買委託手数料 (投 資 信 託 証 券)	1 (1)	0.005 (0.005)
(c) 有価証券取引税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)
(d) その他費用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷 費 用 等)	4 (2) (0) (2)	0.030 (0.012) (0.002) (0.016)
合 計	24	0.177

期中の平均基準価額は、13,325円です。

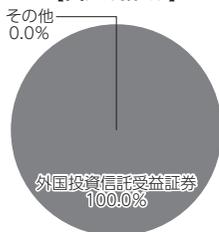
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

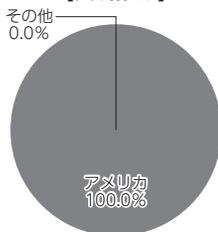
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 ISHARES GOLD TRUST-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	44.9%
2 SPDR GOLD MINI SHARES TRUST-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	44.4%
3 ISHARES GOLD TRUST MICRO-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	7.1%
4 SPDR GOLD TRUST-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	3.6%
5 -	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-
組入銘柄数		4銘柄		

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

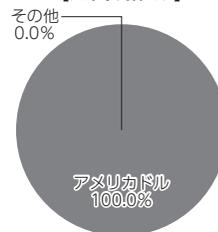
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2024年3月8日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

Jリート・アクティブ・ファンド（適格機関投資家向け）

【基準価額の推移】



(注) グラフの基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2024年6月18日～2024年12月16日)

項 目	第74期～第79期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	34 (31) (1) (3)	0.274 (0.247) (0.005) (0.022)
(b) 売買委託手数料 (投 資 信 託 証 券)	5 (5)	0.041 (0.041)
(c) その他費用 (監 査 費 用) (印 刷 費 用 等)	2 (0) (2)	0.015 (0.001) (0.014)
合 計	41	0.330

作成期間の平均基準価額は、12,387円です。

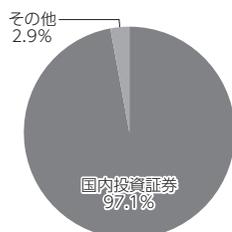
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

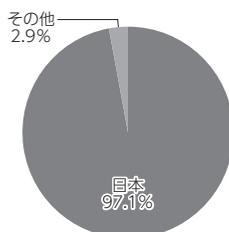
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比率
1	インヴィンシブル投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	8.8%
2	ジャパン・ホテル・リート投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	7.5%
3	日本プロロジスリート投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	7.1%
4	日本ビルファンド投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	6.9%
5	ジャパンリアルエステイト投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	5.9%
6	KDX不動産投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	5.5%
7	ユナイテッド・アーバン投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	5.4%
8	日本都市ファンド投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	5.2%
9	三井不動産ロジスティクスパーク投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	4.7%
10	GLP投資法人 投資証券	投資証券	円	日本	4.0%
	組入銘柄数		24銘柄		

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

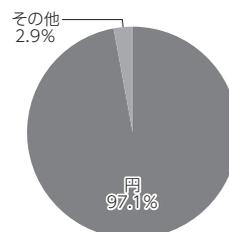
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2024年6月17日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- **日本株**
Morningstar 日本株式指数は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- **先進国株**
Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- **新興国株**
Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- **日本国債**
Morningstar 日本国債指数は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- **先進国債**
Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- **新興国債**
Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、新興国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、すべて利子・配当込みのグロス・リターンの指数です。

<重要事項>

当ファンドは、Morningstar,Inc.、またはモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar,Inc.の関連会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または当ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstar インデックス」といいます）の能力について、当ファンドの受益者または公衆に対し、明示または黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、ちばぎんアセットマネジメント株式会社（以下、「委託会社」といいます）とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマークおよびサービス名並びに特定のMorningstar インデックスの使用の許諾であり、Morningstar インデックスは、Morningstarグループが委託会社または当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstar インデックスの判断、構成または算定を行うにあたり、委託会社または当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額および設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティングまたは売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstar インデックスまたはそれに含まれるデータの正確性および/または完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、当ファンドの受益者もしくはユーザー、またはその他の人もしくは法人が、Morningstar インデックスまたはそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstar インデックスまたはそれに含まれるデータについて明示または黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的または使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。